

なんでもない日を、ちょっと特別に

うまくいかない1週間目の乗り越え方

新しい職場での最初の1週間は、想像以上に緊張するものです。「覚えることが多すぎる」「周りに迷惑をかけていないか不安」「自分だけができていない気がする」——そんな思いを抱えていませんか。

実は私も、派遣で介護の仕事をしていた経験があります。最初の頃は、利用者様の名前を覚えるのに必死でした。顔と名前を一致させるだけで頭がいっぱいになり、次の業務の指示を聞き逃さないよう神経を張り詰めていました。さらに、自分に任せられた仕事をメモを取りながら一つひとつこなす毎日。小さなメモ帳をポケットに入れ、わからないことや注意点を書き留めながら、とにかく必死に食らいついていたのを覚えています。

周囲の職員の方々は慣れた様子でテキパキと動いていて、その姿を見るたびに「自分は向いていないのでは」と落ち込むこともありましたが、でも、後から気づいたのは、うまくいかなかったのは能力の問題ではなく、“まだ慣れていなかっただけ”だということです。

1週間目は評価される期間ではなく、慣れるための準備期間です。昨日より一つできることが増えれば十分。名前を一人覚えられた、業務の流れを少し理解できた、それだけで前進です。

そして、不安は抱え込まないこと。「ここまで合っていますか？」と確認する勇気が、結果的に信頼につながります。

もし今、つらさや迷いを感じているなら、決断する前にぜひ担当へご相談ください。早めに共有することが、安心して続けられる環境づくりの第一歩です。あなたの頑張りを、私たちはきちんと見ています。



みんな不安はつきもの。



管理課 石井